地域のひろば
“安心と安全の福祉のまちづくりを”
府社協 地域福祉部
TEL.06(6762)9473／FAX.06(6762)9487

基調講演

石川久仁子氏(大阪人間科学大学・准教授)による進行・問いかけに答えるかたちで、勝部麗子さん(豊中市社協)から小ネット20年の振り返りと今後の展望について報告がありました。

孤立死や災害を例にあげ、地域でのつながりや支えあいの大切さを確認し、校区福祉委員会での見守り活動やサロン、福祉なんでも相談窓口などへと発展してきた歴史を紹介。「CSWや地域包括等の福祉専門職と地域(福祉委員や民生委員・児童委員等)が協力して、アウトリーチで地域の課題を発見し、行政も含めて縦割りではなく、ネットワークで解決する仕組みをつくっていくことが大事」と小ネットの意義を訴えました。

最後に小野達也氏(大阪府立大学・教授)から「理想の地域福祉の実現とは何かを改めて皆さんと一緒に考えていきたい」と実践報告につながるまとめがありました。

実践報告 見守り活動の重要性と新たな展開

寝屋川市 見守り活動とかぎ預かり事業 ～地域と福祉施設との連携～

西校区福祉委員会
寝屋川ケアセンターそよ風

村尾さんから「孤立死や家の中で倒れているのではと緊急時対応で困ることがある。なんとかしたいという地域の課題があって、かぎ預かり事業が始まった」と事業開始の経緯が報告されました。

左から 村尾 克子氏、浜岡 恭子氏、森島 徹氏、三澤 律子氏

続いて浜岡さんが「この事業は地域に恩返しできる活動。かぎ預かり事業の合同模擬訓練を実施して連携が深まった。これからも地域と一緒に見守り活動を進めていきたい」と抱負を語りました。

豊中市 マンションURのコミュニティづくり

泉丘校区福祉委員会

「ポストにチラシがいっぱい詰まっていても、空き家かどうかも分からなかった」と森島さん。そこで、UR、福祉委員会、自治会、民生委員・児童委員、地域包括、社協CSWとで相談を重ね、すべてのポストをチェックする取り組みを開始。チラシが詰まっている部屋を重点的に専門職と地域関係者で再訪問。支援の必要性をていねいに確認し、地域全体で見守っていく、今後の方向性が示されました。

阪南市 日ごろからのつながりづくりと要援護者安否確認

山中渓校区福祉委員会

「くらしの安心ダイヤル事業」の紹介があり、普段からの見守り、行事へのお誘いでのつながりづくり、災害時の声かけ、と三段階に分けた見守りを行っていることで、実際の避難勧告時にも有効に機能したとの紹介がありました。

また、平常時も災害時にも役立つ地図ソフトを活用した見守りの仕組みづくりにチャレンジしているとの報告がありました。

小地域ネットワーク活動リーダー研修会

小ネット活動の原点と今後の展開

～見守り活動の重要性と新たな場づくり～

府社協は2月19日に小地域ネットワーク活動リーダー研修会を開催(880人が参加)。活動のヒントを大いに学ぶ機会となりました。

小野 達也氏

勝部 麗子氏

石川 久仁子氏

実践報告 多様な主体との連携ですすめる場づくり

箕面市 多文化共生による福祉のまちづくり ～「あいあいサロン」の取組みを通して～

豊川南小地区福祉会
(公財)箕面市国際交流協会

西岡 依子氏

村田 里鶴氏

豊川南小地区は近くに大学等があり、留学や仕事で来日する外国人が多い地域。地区福祉会の拠点と国際交流協会が入る多文化交流センターで外国人市民との交流を目的に始まった「あいあいサロン」の経緯が実演を交えて紹介され、外国人市民を対象とした防災訓練についても報告がありました。

西岡さんは、「交流の輪をさらに広げ、将来地域を担う子どもたちのために、地域が外国人市民と一緒になって安心して暮らせる多文化共生のまちづくりを進めていきたい」と展望を語りました。

門真市 認知症当事者や家族のためのひといきサロン

門真市介護保険サービス事業者連絡会
門真市介護者(家族)の会

ひといきサロンでは、音楽やカフェ、回想法などを活用しながら、安心して過ごせる空間をつくり出しています。「家族目線の介護経験やサロンのノウハウ提供と専門性の発揮というお互いの強みが活動の幅を広げました」と森さん。また、山本さんからは「福祉委員や地域のみなさんと一緒に、よりよい地域づくりに取り組みたい。家族は、ひと声かけてもらえることでつながりを感じ、安心できるのです」との呼びかけがありました。

森 安美氏

山本ミツエ氏

泉南市 発達に不安がある子どもと保護者のためのつどいの場づくり

一丘地区福祉委員会
子ども総合支援センター

「子どもの発達に不安や悩みを抱えるお母さんと子どもが安心して参加できれば」との願いから、専門職と地域が連携して誕生した「どんぐりひろば」。

西本 悦子氏

西岡 光代氏

中井 裕子氏

西本さんは「子どもの成長が見える瞬間がとてもうれしい」と語り、中井さんも「地域で見守ってもらえて、子どもたちも安心して自分を表現できるようになった」と話します。西岡さんは「センターと地区で一緒にできることで可能性が広がった」と言い、知り合い・つながり・助け合える関係づくりの大切さを確認しました。